

## 2 単純集計表（おとな）

I 平成 12（2000）年 12 月につくられた『川崎市子どもの権利に関する条例』についてお聞きします。

Q 1 川崎市子どもの権利に関する条例を知っていますか。（○は 1 つ）

	件数	%
1 知っている	23	10.0%
2 聞いたことはあるが内容はよくわからない	74	32.3%
3 知らない	128	55.9%
無回答	4	1.7%
合計	229	100.0%

Q 2 川崎市子どもの権利をふだんどのような方法で見たり聞いたりしますか。（あてはまるものすべてに○）

	件数	%
1 学校の先生の話	6	6.2%
2 施設の職員の話	1	1.0%
3 知人・友人の話	4	4.1%
4 学校で配布されたパンフレット	37	38.1%
5 川崎市ホームページ	23	23.7%
6 ポスター	18	18.6%
7 ちらし	9	9.3%
8 新聞、テレビなど	22	22.7%
9 その他	14	14.4%

（無回答=2、N 値=97）

### 【その他】

- ・市の広報紙（他 3 件）
- ・町内会の会報やホームページ（他 1 件）
- ・スポーツ施設・職場の研修など（他 1 件）
- ・毎年、保護者と子どもの権利について話し合っている。
- ・テレビのニュース
- ・母子手帳のうしろだったような（あいまいな記憶）。
- ・知らなかった、見たことがない。（他 5 件）

Q 3 次の川崎市の取組で知っているものは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

	件数	%
1 かわさき子どもの権利の日	29	12.7%
2 川崎市子ども会議	54	23.6%
3 川崎市人権オンブズパーソン	41	17.9%
4 川崎市子どもの権利委員会	15	6.6%
5 子どもの権利に関する行動計画	8	3.5%
6 一つも知らない	136	59.4%

（無回答=11、N 値=229）

Q 4-1 7 つの子どもの権利のうち、子どもにとって最も大切だと思うものはどれですか。あてはまるものを最大 3 つまで選び、守られていないと思う順にその番号と理由を書いてください。

1 番目

	件数	%
1 安心して生きる権利	152	66.4%
2 ありのままの自分である権利	12	5.2%
3 自分を守り、守られる権利	33	14.4%
4 自分を豊かにし、力づけられる権利	2	0.9%
5 自分で決める権利	8	3.5%
6 参加する権利	1	0.4%
7 個別の必要に応じて支援を受ける権利	3	1.3%

（無回答=18、N 値=229）

2番目

	件数	%
1 安心して生きる権利	17	7.4%
2 ありのままの自分である権利	46	20.1%
3 自分を守り、守られる権利	68	29.7%
4 自分を豊かにし、力づけられる権利	13	5.7%
5 自分で決める権利	11	4.8%
6 参加する権利	1	0.4%
7 個別の必要に応じて支援を受ける権利	7	3.1%

(無回答=66、N値=229)

3番目

	件数	%
1 安心して生きる権利	4	1.7%
2 ありのままの自分である権利	19	8.3%
3 自分を守り、守られる権利	30	13.1%
4 自分を豊かにし、力づけられる権利	15	6.6%
5 自分で決める権利	22	9.6%
6 参加する権利	11	4.8%
7 個別の必要に応じて支援を受ける権利	41	17.9%

(無回答=87、N値=229)

【選んだ理由】

1 安心して生きる権利

- ・愛情を持って育てられることは大切なことだから (他 10 件)
- ・親の愛情、又は他人であっても、子どものことを見守ってくれる人が 1 人でもいること (他 2 件)
- ・どんな子供も愛情を受けて育てられるべきだが、あたり前の安全・安心を感じられていない子供が多いと思う (他 1 件)
- ・大人中心の世界になりがちで、その大人になるには子供の時に受けた愛情があつてこそ、豊かな世界を育てる大人になると思う
- ・子どものときに、どれだけ愛情を注がれるかによって、大人になったときの生き方、価値観が大きく左右されるから。(他 6 件)
- ・基本的な事であり、命が一番大切だと思うので。(他 2 件)
- ・生きる、成長する上で基本的な権利だと思います。(他 23 件)
- ・子どもが成長していく過程で、最も必要だと思うから。(他 16 件)
- ・子どもは将来の社会の担い手であり、子どもが安心して生活できることは、大人として社会全体で最低限確保すべきことだから。(他 1 件)
- ・生きていく上で不可欠な要素だから。(他 4 件)
- ・一番大切な人としての土台となる部分。(他 8 件)
- ・子供に限らないことだが、安心して生きる権利は何者にも侵害されてはならないと思うから 1 は特に大切と考えます。
- ・2～7番があつて、1番が成り立っているから。
- ・当然の権利だと考える。(他 2 件)
- ・子供が元気に安心して伸び伸び生活できることが重要だと思うから。
- ・愛情や安心は誰にでも必要であるものだと思うから。(他 2 件)
- ・周りのもの(者、物、環境)が寄りそい、また、育むことが必要であり、それらを子どもたちは享受する権利があると考えます。
- ・毎日が安全・安心に生活して、差別がない事 (他 5 件)
- ・子供が選択できないから (他 1 件)
- ・子供は、どの子も差別なく遊ぶ権利が必要である。
- ・安心してくらすということ。ただ、差別を強調するとなんでも差別差別となり大切なことをみおとすと思う
- ・生まれた国、肌の色、育ったかんきょう、そんなことで人の上下を決める心を、基本は同じ人間という心をもってほしい。
- ・毎日安心していられることにより、健全な心身がつけられる源であるから。
- ・子供は本人が思っているほど、しっかりしていません。やりたい事があれば、どんどん進んでやります。時には集中すればとびだしますし、何も見えなくなります。でも出来るだけ見守り突進してほしいものです。なので安全にやりたいことを止めらることなく、やって欲しいと思っています。

- ・周りの環境を整えるのが大切で安心して遊べる場所や勉強
- ・スポーツできる場所を作ってあげること。(他 2 件)
- ・安心・安全、衣食住がまともであること。不足してはだめ
- ・どこへ行っても安全・安心でいたい。
- ・川崎出身という、「治安悪いよね」というイメージをどうにかしてほしい。
- ・事件事故に巻き込まれない社会を作らなければならないと思う。(他 1 件)
- ・現在は不安定な時代
- ・最近社会が左に向かっているため。
- ・親、家族は子供を大切に育てましょう。
- ・集団行動が始まると色々な出来事がありますが、どんなことがあっても家の中は安心基地であることを心がけていくことが大切。
- ・心も身体も健全にあることが大切だと思うから。(他 1 件)
- ・たのしく生きるから。
- ・一日の生活にストレスのない安心の生活
- ・貧困母子家庭の増加
- ・のびのびと成長してほしい。
- ・子供は国の宝で有り人としての人権を保障すること。
- ・最低限の大人の義務だから。
- ・安心して過ごせなければ未来に希望が持てない。
- ・子どもは弱く、守られるものであることは大前提である。
- ・生を受けたのなら、寿命をまっとうするのが人の使命だと思うから。
- ・まず、安全、安心を、思う事ができないと、何もできない。
- ・川崎の街で生まれ育ったことを後悔してほしくないから。
- ・安心して生きられないと、ありのままの自分を自分で認めてあげられなくなってしまうから。

## 2 ありのままの自分でいる権利

- ・虐待、いじめ等もそうですが、子供の安らげる場所が必要かと思います。(他 4 件)
- ・ありのままの自分でいられる場所が必要
- ・個性を生かすことを学んで欲しい(社会の中で)
- ・現代のネット社会の中で、場所も心もホッと出来る所が大切と考える。(他 1 件)
- ・昨今、SNSなどで誹謗中傷などで、子供の世界も大人と変わらずたくさん心が傷ついていたりすると思います。
- ・自分を認めてもらえ、守られている、安全な場所があることによって好奇心や挑戦しようとする気持ちが生まれてくると思うから。(他 1 件)
- ・リラックスできる環境が自分らしさを育てます
- ・公園がすくなく、子供の遊び場がない。公園でもボールはダメなど制限が多い。子供の成長を大人が抑制することなく、子供本来の姿でありのまままで遊べる環境が欲しい。
- ・大人の見守りが必要だが、社会全体で関わっている事を子ども達に伝えるべきと思う。
- ・それぞれ、生きること、成長することの基本的な権利であると思います。(他 3 件)
- ・ADHA等広く認識されつつあるのに、それを受け入れるだけの社会ではないと感じるため
- ・子供大人にかかわらず、一人の人としてあらゆる偏見や差別はあってはならないと思うから。(他 2 件)
- ・一人の人として、ありのままの自分を認め受け入れられることが、大切だと思うから。他のも 6 つの権利は、この権利を守るために必要な権理だと思うから。
- ・1 度しかない人生だからありのまま自分らしく生きて欲しい。(他 3 件)
- ・他人と違うことは個性であり素晴らしいことだと思うから。(他 3 件)
- ・これが実現されれば、どのような子どもであっても自分らしく生きていくことができ、とても大事な事だと思うため。
- ・それぞれの個性を受け入れることが生きやすさに通じると思うので (他 1 件)
- ・性別や生き方など他の人との違い(多様性)を認められる社会になってほしい。(他 4 件)
- ・得意不得意があるように、個性もそれぞれ。普通という概念を型にはめず理解できるようになってほしい。本人も友達にも個性があり、人それぞれということを学んでほしいです。(他 5 件)
- ・風潮に惑わされる人が多いから
- ・個性を伸ばすことが大切だから
- ・子供は未成長の過程だから
- ・精神的な安定につながるものだから。
- ・子供を産んだら責任を持って育てること。
- ・1 と 3 の権利が守られた上で、その次に 2 が必要だと思うからです。4～7 もとても大切だけど、1 と 3 が守られ、2 が守られることで、やっと 4～7 を実行できるため。

## 3 自分を守り、守られる権利

- ・自分も他人も大切にして、健やかに育ててほしいから
- ・生命にかかわることだから。(他 4 件)

- ・子供が元気に安心して伸び伸び生活できることが重要だと思うから。
- ・いじめ、虐待、体罰は、子どもの成長を阻害する最たるものだから、守る・守られる権利は大切だと思います。
- ・いじめ、虐待、体罰に共通する理不尽さから逃れれることは子どもの大きな安心に繋がると思うから。(他 2 件)
- ・この権利が侵害されることで、自殺等につながる危険性があるから。(他 1 件)
- ・命に関わること、周りの大人が気付き、守っていかなければならない。(他 1 件)
- ・いじめ・虐待・体罰で命を落とすことはあってはならない。(他 2 件)
- ・とにかく生きる事が大事、他の人に命をおびやかされたくないでほしい。
- ・非常事態に対しての最低限のセーフティーネットであるため。
- ・心身がまず大切なため守られるべき。(他 1 件)
- ・いじめ、虐待はどの時代でも共通の課題 (他 2 件)
- ・最も守らねばならない現代の社会問題だと認識している。
- ・子供本人の権利を守る
- ・生きていく上で一番必要、最低限の権利だと思うから。(他 8 件)
- ・子は親をえらべないから。
- ・いじめ、虐待、体罰はどんなことがあっても避けなければいけないと思う。(他 2 件)
- ・自分を大切にできるよう困難なことをサポートしてもらうことは必要と思うから。(他 2 件)
- ・何かあれば(いじめ虐待等)相談ができる事 (他 9 件)
- ・起こらないようにするのも大切。
- ・子どもだからと決めつけず本人の意見が最も重要だと思う。(他 7 件)
- ・いじめ、等に対する、逃れる場所があることが助けになる。(他 3 件)
- ・最近マスコミ等で子供へのいじめや虐待が数多く報告されており、早急に対策を講じ子供が安心して生活できる社会を構築することが喫緊の課題となっているからです。(他 1 件)
- ・子供は学校、家庭、地域で一体になり守られなければならないから。(他 16 件)
- ・自分を守り、守られる権利いじめとかの問題をよく耳にするから。(他 1 件)
- ・子どもの心と身体を傷つけることは親でさえあってはならず、周囲のサポートが大事だと思う。(他 1 件)
- ・親等による虐待があとをたちません。生きる権利とセットだと思います。(他 1 件)
- ・いじめも生涯に影響を与えるから。(他 1 件)
- ・実際にこれらの行動が出来るか?
- ・身体的な安定につながるものだから。
- ・人の話を聞かない人が多いから。
- ・いじめや体罰などは受ける側の身辺かの人のが加害者となる人が多く声を上げにくいから。
- ・いじめ、虐待などの狭い世界で起きていることはなくせると思う。
- ・守られていない話。事件などを多く耳にする。自分の軸を持つ大切な時期だから。
- ・いじめ・虐待・体罰などは、やっている方が悪いこととわかっていないのが一番の問題と思う。自分は楽しくても(又楽したいでも)相手は死にたい程辛いということを知ってほしい。
- ・目に見えない事もこれから増えるでしょうし、増やすでしょう。でも、傷ついたり、傷つけたりはしてほしく無い。いじめを見たら止めてほしいけれど、それでいじめの対象になってしまうのも不安です。なぜだめなのか、隠し事の良し悪しを理解できるようになってほしいです。

#### 4 自分を豊かにし、力づけられる権利

- ・自分を豊かにし、力づけられる権利自分探しをし、それぞれの人生を思う存分楽しんで欲しい。
- ・自分を大切に思える様に、心を豊かに持てる様に。
- ・人間をつくる基本と考える。(他 1 件)
- ・子に限らず人間は人からの励ましにより、大きく成長できるから。(他 2 件)
- ・得意な事や興味のある事を認めてもらうことで励まされる。
- ・将来に役立つ。
- ・自信を持つ事で色々な事に意欲的に行動出来るような人になれると思うから。(他 1 件)
- ・さまざまな経験を重ねて、人は成長して行く、良いこと、悪いこと、無駄な経験はひとつもないから、ひとつでも多くのことを学んで欲しい。(他 3 件)
- ・自分以外の誰かと関わりながら自分のあり方や他人のあり方などの人間関係を築く大切さを知って欲しい。
- ・国際比較でも、日本人は自分に自信や誇りを持つ人の割合が子どもの時点で、とても低く、これからグローバルな世界で活躍するにあたり深刻であるから。
- ・現在のサポート体制が不十分。強化の要。
- ・遊び場も減り、学びも学校の先生自体が悩んで父母会で愚痴をこぼしてる。

#### 5 自分で決める権利

- ・子どもか大人かにかかわらず、どのような状況にあるかにかかわらず、自分に関することを自身の意思で決められることが個人として尊重されるもっとも大事なことだと思うから。(他 2 件)
- ・子どもを枠の中にあてはめて見守るのは大人の都合によるものであってはいけな。子どもの意見の中に大人に対するヒントがある。

- ・大切なライフイベントが多い時期に、親や、まわりの根強い偏見、環境にふりまわされがち→親がそのように育っていない(自立していくのに最も大切なことだから)。
- ・最終的に自分できめるべきだと思うから。(他 1 件)
- ・一人の人間としての権利だと思う。
- ・自分の意志をはっきり言える環境であってほしい。
- ・親が子の行動に感傷し過ぎるように思う。
- ・自分のことは、自分で決めて、行動することを子どものうちから考えたほうがいいから。(他 4 件)
- ・自分で判断し決断していく力が将来必要となるから。(他 1 件)
- ・何があっても、後々自分で決めたと意識を持てる。
- ・責任を持って考えられることが大切です。(他 2 件)
- ・子供が子供自身で自分のことを決め、周囲の大人が支援する。(他 3 件)
- ・自己主張しない子供が多くなったと感じられるため。(他 1 件)
- ・自分で決められれば、いざという時に逃げられる。
- ・成長、育ちを見守るうえで必要だと思う。愛されて育ったうえで、自主性を育てたい。
- ・集団や管理が優先され自分で決めることができないように扱われている。

6 参加する権利

- ・家族で決めるとき、子供だからと親だけで決めないようにしている。
- ・親の経済格差などにより子どもの参加する権利は大きい差があり放置されている。
- ・将来、社会で仕事をするときに、集団に参加することに慣れる必要があるから。(他 1 件)
- ・自分を表現でき、社会で活動しやすくする。
- ・自分の意見が素直に言える社会になるとよい。
- ・表現をする意欲をもぎとらず、道がそれていないかをみていくと、わりと子どもってしっかりした大人になっていきます。(他 1 件)
- ・子どもも人格を持った人間なので。

7 個別の必要に応じて支援を受ける権利

- ・その子どもに合った環境の中で助けられながら生活を送れる街であってほしい。
- ・これがあたり前になると、どの子どもにとっても生きやすくなると思うから。
- ・子供が元気に安心して伸び伸び生活できることが重要だと思うから。(他 1 件)
- ・くじける事があっても再びチャレンジ出来る様に支えが必要
- ・社会活動に参加することで、様々な知識や経験を得られるから。
- ・差別なく、障がいなどで、社会に出れる機会を増やしていける様にしてほしいので。
- ・支援の必要な子が多くなり、一人一人に必要な支援が受けられ、自らの困まり感を「たすけて下さい。」と言えることが大切。
- ・あらゆる差別を受けず、助けてもらえる社会が必要。(他 7 件)
- ・公共機関でしか支えられない。
- ・以前に比べてインクルーシブ教育などが一般的になりつつあるが、まだ生きづらさを抱える子供がいて、そのサポートは充分ではないと感じるから。(他 1 件)
- ・もれる子のないように実現させたいですね。
- ・多様性の社会の中で差別や障害に偏見を持たせない為。
- ・差別されず、支えてもらえる社会で育った子供は良い親になります。
- ・人間として他者と違う(外見、行動様式、考え方等)からといって排除することはあってはならないと思うから。(他 2 件)
- ・国籍や障がいなど差別なく、社会の参加、交流は大切と思う。(他 4 件)
- ・ハンデは個性だからそれに囚われることなく生活できてほしい。助けが必要なのであれば、するべき。
- ・多様性について柔軟な考えを持てるようにならないと将来困るだろうから。
- ・その権利がない状態=差別があたりまえの環境。そういった環境は子供の人格形成に大きく影響する。

Q4-2 7つの子どもの権利のうち、守られていないと思うものはありますか。あれば最大3つまで選び、守られていないと思う順にその番号と理由を書いてください。

1 番目

	件数	%
1 安心して生きる権利	29	12.7%
2 ありのままの自分での権利	22	9.6%
3 自分を守り、守られる権利	56	24.5%
4 自分を豊かにし、力づけられる権利	5	2.2%
5 自分で決める権利	11	4.8%
6 参加する権利	2	0.9%
7 個別の必要に応じて支援を受ける権利	15	6.6%

(無回答=89、N値=229)

2番目

	件数	%
1 安心して生きる権利	9	3.9%
2 ありのままの自分である権利	17	7.4%
3 自分を守り、守られる権利	23	10.0%
4 自分を豊かにし、力づけられる権利	4	1.7%
5 自分で決める権利	15	6.6%
6 参加する権利	6	2.6%
7 個別の必要に応じて支援を受ける権利	13	5.7%

(無回答=142、N値=229)

3番目

	件数	%
1 安心して生きる権利	8	3.5%
2 ありのままの自分である権利	7	3.1%
3 自分を守り、守られる権利	6	2.6%
4 自分を豊かにし、力づけられる権利	4	1.7%
5 自分で決める権利	5	2.2%
6 参加する権利	6	2.6%
7 個別の必要に応じて支援を受ける権利	17	7.4%

(無回答=176、N値=229)

【選んだ理由】

1 安心して生きる権利

- ・全ての子供が愛情を受けているのであれば、起こりようのない事件が世の中に多いから。(他1件)
- ・現実には差別があり、安心が守られていないから。(他4件)
- ・学校での暴力
- ・親しかり不審者しかり子供を危険な目にあわせる大人が一定数いる(と思う)。(他2件)
- ・子どもを愛すべき家庭に問題があるのに対処できていないから。(他5件)
- ・安全・安心に生活できているか、その権利があることを理解しているか疑問。(他1件)
- ・社会が不安定→家庭(親)が不安定を思うから。(他3件)
- ・小学校の環境が劣悪。川崎独自のフロンターレドリルなどいらない。
- ・可哀想な事件をメディアで見聴するとそう思う(虐待、育児放棄、不審者による事件等)。(他5件)
- ・虐待、いじめが普遍的に存在している。(他1件)
- ・守られるべき、具体的な内容が不明確。
- ・虐待やヘイトスピーチなどまだまだ十分ではないと思います。
- ・公園の近くの住人が、子供の遊ぶ声がうるさいの、苦情を言う人が居るが、自分のお世話になる訳だから、大目に見てやらなければならない。
- ・生まれてきたことは素敵なことなのにどこか上手くいかない子供たちがいることがやっぱり悲しい。
- ・法定速度を守らないで運転している人が多いような気がする。安全確保が重要。
- ・特に高齢者の自転車など運転に危険を感じる事が多い。

2 ありのままの自分である権利

- ・子供達の安心して過ごせる場所、仲間(友達)ができない。・守られるべき、具体的な内容が不明確。
- ・子供のうちは(小中学生)学校に行く事が前提になっており、学校以外の居場所、学ぶ場所がなかなかなく、苦しんでいる方達が一杯いるから。学校がづらい人達にはオンライン学習の選択があるべきでは。1人1台パソコンがあるのに…。
- ・ネットでの情報、通信の発展で、プライベートが守られていない。(他1件)
- ・秘密が守られているか、…理解して大人が行動しているか？(他2件)
- ・個性や秘密、対象年齢によって一律には語れない。
- ・他との競争から生じる発言を耳にする。
- ・個性をどのように受け止めるか。受け止める側の学びも必要と感じる。
- ・日本の教育現場において、まだまだ、「みんなと同じ」であることが良いとされる教育がされていると思う。(他4件)
- ・小学校の先生が公の場で他の子との違いや劣っている事を指摘したりしている。
- ・人種差別や個性を認めないような社会がまだ続いていると思うので。(他5件)
- ・いじめ問題等はその場しのぎで解決しようとして、社会全体の問題として考えられていないから。

- ・人と違うといじめに会うことがまだまだあります。(他 3 件)
- ・237 共うわさで聞きます。
- ・幼少期から 18 歳まで、各家庭で何が起きているか他人が知ることはないから。
- ・あらゆる点で、経済差が広がっていること、未来への不安が強まっていることが大きな要因ではないのかと思います。
- ・けっこうありのままでいたくても出来ないのかな。
- ・当然のことであるが、1 部守られていない。

### 3 自分を守り、守られる権利

- ・いじめや虐待がなかなか無くならない。(他 9 件)
- ・虐待、親の見識、親に対する教育にも。
- ・いじめ、虐待は、なかなか表にでてこないところで行なわれるので、権利があってもむずかしい。(他 2 件)
- ・親の支配下に置かれ、個人の自由な思考、行動に抑制的すぎるように思います。
- ・いじめは、残念ながら大人でもある。人格を認められていない。
- ・いじめへの対応が出来ていない。
- ・虐待、いじめが増え、子供の命さえ守ってあげられない。子供の命の大切さが重要。(他 6 件)
- ・自分を守り、守られる権利虐待や虐待のない社会を実現したい。
- ・いじめ、体罰等の相談をしても、特に教育委員会は全て保身の対応していると思います。
- ・予防をできるようにした方が良い(親に対しても)。
- ・単に足りていない。
- ・子供が事件に巻き込まれるニュースを見ると、守られていないと思う。(他 12 件)
- ・児童相談所や、警察がもっと介入できるようになって欲しい。
- ・いじめや虐待をうける子供が逃れたり相談するという行動が起こせるのか。(他 6 件)
- ・やはり、相談できる人(場)がない、と思っている子が多いから。
- ・子どもが声や行動に出すのは大変なこと。しっかり受け取る体制が必要。
- ・いじめや虐待、体罰について相談や逃げる先がどこか不明。(他 2 件)
- ・いじめについての学校の対応は？ニュース等を見ると問題がある。(他 3 件)
- ・いじめや虐待などを全てみつける事がむずかしい。(他 3 件)
- ・ネットでの情報、通信の発展で、プライベートが守られていない。
- ・自分を守り、守られる権利→コロナ禍での学校の対応でより強く感じました。
- ・人のことを考えられないこと(人)が多い、“相手を尊重する”親は教えているのか？
- ・他人事と考え、自分のことと考え行動していない教育者も同様
- ・あらゆる点で、経済差が広がっていること、未来への不安が強まっていることが大きな要因ではないのかと思います。
- ・娘達には小学時トラブルは無かったが、放置子が増えていると感じている。
- ・私の子供の頃は虐待が社会的に問題視されていなかったと思う。
- ・私の中では日本では子供が社会で活動している。という認識がないです。なので守られているとも思えません。
- ・家庭や学校で潜在化してしまい明るみになりたくないから。
- ・社会全体でいじめ・体罰など許さないという考えが弱い。
- ・いじめ、虐待、体罰などの撲滅が社会的に叫ばれているが未だ対策が不十分であり、さらに充実した対策を構ずる必要がある。

### 4 自分を豊かにし、力づけられる権利

- ・励まし、力づけよりもしかられる、おこられる場面を多く見るから。
- ・教育者の意識向上を、愛のある言葉を子供達にかけて下さい。(他 1 件)
- ・子供達は、今、励まされるのではなく、分けられている様に思う。
- ・現在は競争社会の為勝っていない時には、必ずしも励ませるだけではない事が多く感じるから。
- ・子供が日常生活の中で自信をもって成長して行ける環境作りが急務だと思うからです。
- ・各国比較で日本は自分に自信や誇りを持つ子どもの割合が低いから。
- ・コロナにより学校行事、地域行事がなくなっている。子供への制限が厳しい。
- ・守られるべき、具体的な内容が不明確。

### 5 自分で決める権利

- ・子供は判断できないと勝手に思い、大人の意見を押しつけている事が多く感じるから。(他 1 件)
- ・親の意見がまだまだ影響が大きいように思う。(他 5 件)
- ・致し方ない部分もあるが、大人が子供に決断をさせる場面が作りづらいつと感じる。
- ・環境や状況で決定権を得られない時があるから。
- ・権利として、きちんと認識されることが親や関係者にないと思えます。生活や大人に余裕がなくなるとますます子どもの権利がおびやかされる。
- ・自分で決めるまでの判断力とぼしいので意見するのは、ある意味ゆうどう、しているようなもの。
- ・自己主張しない子供が多くなったと感じられるため。(他 1 件)

- ・子供が自分の意見を述べる機会はもともと多くないように感じる。
- ・子どもの権利とうたっているが、正直、何さいからの年れいを対象にしているのかがあいまいすぎる。
- ・今一番出来ていない事が、自分で決める事が出来ないのでは。
- ・日本の教育現場において、まだまだ、「みんなと同じ」であることが良いとされる教育がされていると思う。
- ・大人が手をかけ過ぎがちで子供本位のわがままな行動を見かける。
- ・中学受験において、東京と教科書が異なるのは不利としかいえない。
- ・自分で決める権利→コロナ禍での学校の対応でより強く感じました。
- ・健康な体にマスクをつけるデメリットを子どもに教えた方が良いと思います。成長にも大きく関わります。デメリットの方がはるかに大きいですよ。
- ・割と不親切な対応を区役所でされたことがある。

## 6 参加する権利

- ・子供の社会的参加をうながす活動が必要です。(他3件)
- ・引合により参加/不参加がある。
- ・コロナ禍により活動は、制限されていると思う。
- ・学校などで取り組まれていると思うが、社会に出てからの若者が難しいと感じる。
- ・日本の教育現場において、まだまだ、「みんなと同じ」であることが良いとされる教育がされていると思う。
- ・社会活動に参加している子供をあまり見ない。そのような自由があることを知らないのかもしれない。(他1件)

## 7 個別の必要に応じて支援を受ける権利

- ・国の違い等でかなりちがいがあがると思う
- ・まだまだ差別されず支えられる世の中ではない。(他5件)
- ・川崎市のコリアンに対する差別は根強い。若い世代が変えていくしかない。
- ・差別をしない、させない日常を支援してない。(他1件)
- ・移民、難民受け入れにうしろ向きな日本。
- ・国民性、宗教にトラブル発生の要素があると思う。
- ・子供はそういう制度があることを知らない。
- ・国の違いなので社会に参加して交流できる場所が少ない。
- ・具体的な策を聞いたことがないから。
- ・様々な国、人、文化の事を知る時間を幼少期より必要。
- ・その子どもの個性が、尊重されているのか？社会参加は強制ではない。
- ・小さなことに囚われて時にそれに対して意地悪をするような子が育つ環境がなくなることが悲しい。
- ・成長が著しい時には助けてもらえますが、その逆の時は延ばしてほしい。その判断は親にあるようですが、学校で先生が気づいた時など、飛級制度のような、もっとやってみるといふ環境も作って欲しい。
- ・障がい者、人権の違いで、差別を余儀なくされている社会で、それぞれの障害、人種の違いによって社会生活が送れるかが重要視される中で必要だと思う。
- ・身体の障がいがあると、この(日本の)町は動きにくい。例、車いすの移動は大変、等。
- ・まだまだ足りない、健常者も理解できるような社会を作りたい見えない障がい者はなかなかつかないから。(他3件)
- ・そもそも障害を持っている子どもは親の手助けが必要となるので本人自身では無理なのでは？
- ・個別の支援は受けられるようになってきている部分もあるが、分けて支援するのみで社会の中に参加させながら必要な支援をするという視点が欠けていると思うから。
- ・個別の支援は必要だが、一人一人には対応しきれない。(他2件)
- ・もっと子供に対する国からの支援があってもよいと思うよ。(他1件)
- ・教育環境格差も起因していると思います。

## 1～7の区別のない意見

- ・どの条例も守られて欲しい。
- ・守られていないと思うが、個別には判断つきません。
- ・どれも全ての人に守られているのか、といえば、どれも守られていないのではないかと思います。それぞれの家庭や学校等の対応によるので。(他1件)



II 『あなたの生活』についてお聞きします。

Q5 あなたは、次の中で疲れること、不安に思うこと、悩んでいることは何ですか。(〇は1つ)

	件数	%
1 家事	33	14.4%
2 お金のこと	95	41.5%
3 自分の身体のこと	80	34.9%
4 自分の将来	63	27.5%
5 いじめ・嫌がらせ・シカト	27	11.8%
6 就職	8	3.5%
7 介護	36	15.7%
8 近所づきあい	15	6.6%
9 町内会の活動	7	3.1%
10 自分の親との関係	14	6.1%
11 友人関係	11	4.8%
12 職場の人間関係	24	10.5%
13 配偶者やパートナー(彼氏・彼女)との関係	19	8.3%
14 Facebook, Twitter, LINE, Instagram など SNS 上の人間関係	21	9.2%
15 いわゆる「舅・姑」「婿・嫁」との関係	9	3.9%
16 自分(配偶者)の仕事	24	10.5%
17 子どもとのコミュニケーション	18	7.9%
18 子どものしつけ	25	10.9%
19 子供の進路・将来	53	23.1%
20 子どもの友人関係	21	9.2%
21 子どものいじめ	28	12.2%
22 子どもの不登校・ひきこもり・中退	14	6.1%
23 子どもの非行・暴力	12	5.2%
24 同居家族(子ども以外)からの暴力	2	0.9%
25 新型コロナウイルス感染症のこと	43	18.8%
26 その他	13	5.7%
27 疲れること、不安なこと、悩んでいることはない	18	7.9%

(無回答=14、N値=229)

【その他】

- ・小姑との関係
- ・兄姉の協力がまるでない(実親 に対して)
- ・病気治療中の子どもの対応
- ・子供自身の生活状態
- ・共働きで家事(特に食事)に対する負担が大きい
- ・子育て中は⑮⑦⑬⑳㉑㉒㉓で悩み、コロナ禍で友人達と疎遠になりとても孤独。家族の会話が無く、有るのは自由時間だけ
- ・人間が地球を壊している良いニュースがない。環境問題や人間の争い子供が減っている。
- ・戦争、気候危機、日本の軍備増強など不安が大きい。最低賃金や不安定雇用が改善されない。物価高。
- ・心の優しい人が少なくなり逆にずるい人が多くなってきていること→いい人と思いだまされそうになる。
- ・先の生活に対する不安
- ・自分の健康のこと
- ・学校は子ども達から健康を奪っています。毎日。いい加減気づきましょう。学校側の保守の為にマスクをつけさせないで下さい。私は仕事以外では一切マスクはつけていません。子どもにも、学校以外ではつけさせていません。本当は学校でも付けさせたくないのです。
- ・全てにおいて考え悩みます。

Q6 あなたは、家で自由な時間はありますか。(あてはまるものすべてに〇)

	件数	%
1 ある	204	89.1%
2 ない	13	5.7%
無回答	12	5.2%
合計	229	100.0%

Q7 あなたは、家で過ごしているときに、子どもの話を聞くこと（気持ちを受け止めること）ができていますか。（○は1つ）

	件数	%
1 できている	22	9.6%
2 だいたいできている	93	40.6%
3 ほとんどできていない	24	10.5%
4 できていない	6	2.6%
5 子どもはいない	73	31.9%
無回答	11	4.8%
合計	229	100.0%

Q8 Q7において「1 できている」「2 だいたいできている」を選んだ人にお聞きします。その具体例や工夫していることは何ですか。

- ・子供との会話。子供の目線に合った生活リズムを作ること。
- ・こまめに連絡をとりあう。
- ・一緒にあそんだり出かけたり、よくしゃべっている。(他2件)
- ・やりたいことにつきあう。
- ・忙しくても、子供と過ごす時間を作るようにしている。(他6件)
- ・月に1回必ず家族全員でモーニングに行っている。
- ・子ども部屋をつくらず、いつもみんながリビングで過ごすようにしている。
- ・一緒にいる時には、話す時間を多く持つようにしている。(他9件)
- ・子供の行動をみて、少しでも普段と違うと思った時に声をかけるようにしている。
- ・まだ話すことができないので、気持ちを代弁したり、たくさん話しかけることを意識しています。(他1件)
- ・家事の手を止める。その時聞けなかった場合は、必ず後で聞くようにする。(他5件)
- ・正面で聞くときと、場合によって横に座って聞く。
- ・子どもの言うことを優先している。(他2件)
- ・もう子供も大きいので聞きすぎないようにしている。
- ・とにかく相手の懐に入ること。
- ・毎日食事を共にして、子供の話を聞くようにしている。(他13件)
- ・一緒におやつを食べながら、その日の出来事を話したり、リビングでゆっくり過ごす。
- ・お風呂に入ってる時や、食事の際に聞いたりしている。(他2件)
- ・お風呂に一緒に入る時に話をするようにしている。(他1件)
- ・子供は成人し別居中だができるだけ家に集まり会話する様にしている。
- ・帰宅した時、食事、就寝する時に今日の話の繰り返し聞いています。聞いた話の質問や気持ちなど。どう思ったかなどを聞くようにしています。
- ・日頃の学校生活や友人関係等を意識して聞いている。(他3件)
- ・出来るだけ楽しかった事を聞くようにしている。
- ・食べたいものを相談して決める。
- ・子供に1日の出来事を聞く等、コミュニケーションをとるようにしている。(他3件)
- ・家族とのコミュニケーションは大切と考え、常に心がけているから。
- ・ラインで家族グループを持ち、お互いの状況を相互理解している。(他2件)
- ・子どもの話を途中で遮らない。どう？と意見を求めたりしている。(他1件)
- ・子供からの話を、聞く。受けとめる。否定はしない。(他2件)
- ・相手の思っていることをしっかり、聞いてあげる。(他10件)
- ・相づちを打ったり内容をくり返して言うことで話を聞く意志を見せている。
- ・共働きの嫁の家へ毎週平日2泊3日で通い続けてますが、その日の出来事等聞く様にはしているが、子供も塾やけいこ事 etc で忙しく何々ゆっくり沢山話す時間がない。
- ・話しを最後まで聞き、子供が話をした事に対して、受け答えをしている。(他3件)
- ・自分の意見を先に言わずに、子供がどう思っているのか、心配な事などがなくさらっと聞く様にしている。
- ・その日のできごと、今どんなことをしているかなど、聞くようにしている。話しやすように具体的に質問する。
- ・会話していた時に、ほめれる部分は見つけて積極的にほめてあげる。
- ・特に工夫はしていませんが、子供達が自然に話せる様な環境を作る様努めています。
- ・心配事、困っている事をオープンにできる関係を子供が小さい頃から築いている。
- ・話かけられれば返事をしたり共感したりする。反抗的な時は背景を考察したりする。
- ・言葉でなくどういう気持ちで言っている言葉なのか考えたいとは思っている。
- ・子供の人数に対して大人の数が多い状況にいるようにする。
- ・親にあずけられるから(もうダメだと思ったら)リフレッシュできる。
- ・子どもも成長し、それぞれの家庭で親となり生活しているので、それなりに育ったのではないかと思います。

Q9 Q7において「3 ほとんどできていない」「4 できていない」を選んだ人にお聞きします。その理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

	件数	%
1 子どもの話を聞く時間を取ることができないから	9	30.0%
2 子どもが自分の気持ちや意見を言うことが少ないから	10	33.3%
3 聞くよりも子供に伝えることのほうが多いから	3	10.0%
4 どのように聞いたり受け止めたりすればよいかわからないから	4	13.3%
5 その他	7	23.3%

(無回答=4、N値=30)

【その他】

- ・一緒に住んでいないから。(他1件)
- ・女の子は話をするが、男の子は父親の方に良く話をしている。
- ・妻が聞いてあげれていると思うから。
- ・父親、兄を見て育ったので二男は心を閉ざしてしまっている。家は寛げず、自室が1番安心。
- ・子どもがいないから。(他1件)
- ・一緒に住んでいないから。(他1件)
- ・女の子は話をするが、男の子は父親の方に良く話をしている。
- ・妻が聞いてあげれていると思うから。
- ・父親、兄を見て育ったので二男は心を閉ざしてしまっている。家は寛げず、自室が1番安心。
- ・子どもがいないから。(他1件)

Q10 あなたは家の中で何かを決めるとき、子どもの意見を聞いていますか。(○は1つ)

	件数	%
1 聞いている	33	22.8%
2 だいたい聞いている	92	63.4%
3 ほとんど聞いていない	7	4.8%
4 聞いていない	8	5.5%
無回答	5	3.4%
合計	145	100.0%

Q11 Q10において、「1 聞いている」または「2 だいたい聞いている」を選んだ人にお聞きします。子どもから聞いた意見を実際に反映させたり、実現したりすることができていますか。(○は一つ)

	件数	%
1 できている	21	16.8%
2 だいたいできている	94	75.2%
3 ほとんどできていない	7	5.6%
4 できていない	1	0.8%
無回答	2	1.6%
合計	125	100.0%

Q12 Q11において、「1 できている」または「2 だいたいできている」を選んだ人にお聞きします。できたことで印象に残っていることは何ですか。

- ・子供のやりたい話を話し合ってきた。(他5件)
- ・習い事に関しての選択。(他8件)
- ・例えば旅行の予定でどっちがいいか、とか意見を聞き、話合う。(他16件)
- ・休日の過ごし方、食事の内容、など簡単なことばかりだけど聞くことによって相談されたら喜んでくれる。(他3件)
- ・何が食べたいかを聞いて、答えた物を作ってあげた。(他7件)
- ・家の相続。
- ・弟の名前
- ・学校から帰ってきからの、宿題や遊ぶ時間のルール決め。(他3件)
- ・帰宅時間を自分で決めさせて、それを守っている。
- ・友達とのつき合い。(他2件)
- ・子どもの部屋のものは、どんなにちらかっていてもさわらない→自分で片づけはじめた。
- ・休日の過ごし方について意見を尊重している。(他4件)
- ・本人の希望する、お絵描きや工作の材料や環境を整える。(他1件)
- ・物を捨てる時など意見を聞いてから捨てます。・子供の提案を参考にして決めている。(他1件)
- ・子供自身の事や子供が関係する事は子供の意見もとり入れる。(他1件)
- ・お互いに問題点を話し合い、意見を聞き入れてる。(他2件)
- ・コツを教えたらできるようになる。
- ・家族で楽しいと思う事が多い。親が、こうしたいなと思う気持ちを子どもも、そうしたい。と言ってくれることが多い。また子どもの言葉で動くようにしている。
- ・どう思うか、を聞くと自分の言葉で話してくれる・決めつけず選択できるようにすると子どもは答えやすい。
- ・親との約束を守れなかった時、自分で目標や反省点を考え、それを実現して行動している。考える手助けをしている。(他2件)
- ・日常的に様々なことで互いにサポートしている。

- ・学校の進路等について。(他 17 件)
- ・学校のことをよく聞いている。むりな時は休ませたりしている。(他 1 件)
- ・家を新築する際、部屋の仕様を、子供の意見を聞きながら設計した。(他 1 件)
- ・家具などと買う時など家族全員が過ごしやすい場にする為、子供も一緒に選び、みんなで考えている。
- ・子供が使用するものはどれにするのか、大切に使えるかなど約束も合わせてしています。
- ・問題の解決方法が的確だから成長を感じる。台風の水害の際に優先順位と作業方法を進める事が出来た。
- ・感謝の気持ちを言われたとき。(他 1 件)
- ・屈託のない笑顔。
- ・それぞれ自力しているから
- ・子供が好きな所につれて行くと、はしゃぐ姿。
- ・何って事はないが、子供の一言との、純粋な、意見は、決断力は大きい。

Q13 Q11において、「3 ほとんどできていない」または「4 できていない」を選んだ人にお聞きします。できていない理由は何ですか。

- ・自己中心的な考え方が多かった。
- ・意見が異なる事が多い。
- ・子供の意見を聞くまではするが、あまりにも突拍子もないことを言ったり、現実的ではないことを言うため、なかなか意見を反映できない場合が多い。
- ・出来る限り子供の意見は反映させてあげたいが、コロナ禍や今のご時世では実現が難しいと感じる部分はあった。1人で公園に行きたいなどの場合、治安的に安心して行っておいでとは言にくい。代替案などを子供に提示してしまう部分があると感じた為。
- ・約束事を決めてもほとんど(孫)が守らない事が多く、反抗期も少し入り始め、毎日バトルする事が多くなっている最近です。
- ・家庭内が安心できる場所ではないので二男はほとんど会話せず意見を言わない。長男はおしゃべりなので家長の様に干渉してくる。各々性格が違うので反応が違うのは仕方ない。
- ・時間やお金に余裕がなく、行きたいところをやりたい事をさせてあげられないと感じる。

Q14 子どもには、安心して自分の気持ちや悩みを話せるおとなが、少なくとも一人はいると思いますか。(○はひとつ)

	件数	%
1 そう思う	167	72.9%
2 そう思わない	49	21.4%
無回答	13	5.7%
合計	229	100.0%

Q15 子どもには、遊んだり休んだり自分の好きなことをする時間が十分あると思いますか。(○は1つ)

	件数	%
1 あると思う	66	28.8%
2 だいたいあると思う	125	54.6%
3 ほとんどないと思う	25	10.9%
4 ないと思う	2	0.9%
無回答	11	4.8%
合計	229	100.0%

Q16 子どもにとってホッとできる場所はどこだと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

	件数	%	【その他】
1 自分の部屋	134	58.5%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達のいる学校</li> <li>・放課後の学校</li> <li>・地域の学童クラブ</li> <li>・公園</li> <li>・ベッドの上（他1件）</li> <li>・洗面所→ドライヤー・スマホ見</li> <li>・映画館</li> <li>・就労移行支援施設</li> <li>・川崎市子どもの権利1.2.3が守られていれば、ほぼ全ての場所。守られていなければホッとできる場所など存在しない。</li> <li>・自分がその場面においてリラックスする場所。</li> <li>・不安な時は、何処にいても不安なままなので心を落ち着かせる場所はないかと思います。</li> <li>・その子にとってどこかはここできめられない</li> </ul>
2 リビング・居間	153	66.8%	
3 お風呂	65	28.4%	
4 トイレ	41	17.9%	
5 祖父母の家	54	23.6%	
6 友だちの家	19	8.3%	
7 教室	18	7.9%	
8 学校図書館	12	5.2%	
9 クラブ、部活動の場所	28	12.2%	
10 学習塾	6	2.6%	
11 習いごとの教室・スポーツクラブ	13	5.7%	
12 地域の図書館・市民館	5	2.2%	
13 子ども夢パーク	2	0.9%	
14 公園	31	13.5%	
15 こども文化センター・わくわくプラザ	15	6.6%	
16 アルバイト先・仕事場	4	1.7%	
17 遊戯施設（カラオケボックスやゲームセンターなど）・飲食店・コンビニ	9	3.9%	
18 その他	15	6.6%	
19 特になし	0	0.0%	

（無回答=11、N値=229）

Q17 日常生活で、文化・国籍等のちがいが、障がいのあるなしにかかわらず、子どもは大切にされていると思いますか。（○は1つ）

	件数	%
1 そう思う	70	30.6%
2 ときどき思う	113	49.3%
3 ほとんどそう思わない	27	11.8%
4 そう思わない	14	6.1%
無回答	5	2.2%
合計	229	100.0%

### Ⅲ 『相談するところ』についてお聞きします。

Q18 あなたには、安心して自分の気持ちや悩みを話せる人が少なくとも一人はいますか。（○は1つ）

	件数	%
1 いる	199	86.9%
2 いない	26	11.4%
無回答	4	1.7%
合計	229	100.0%

Q19 あなたは、困ったり悩んだりしたとき、誰に相談しますか。(あてはまるものすべてに○)

	件数	%
1 自分の親、義理の親	89	38.9%
2 自分子ども	66	28.8%
3 親戚	9	3.9%
4 兄弟姉妹	60	26.2%
5 夫・妻、パートナー	144	62.9%
6 友だち	118	51.5%
7 職場の同僚	40	17.5%
8 職場の先輩	16	7.0%
9 職場の上司・管理職	13	5.7%
10 近所の人	6	2.6%
11 保健師	1	0.4%
12 医師	16	7.0%
13 民生委員・主任児童委員	2	0.9%
14 子どもの担任の先生	8	3.5%
15 子どものクラブ・部活動の先生	0	0.0%
16 校長先生、教頭先生	0	0.0%
17 ゆうゆう広場・相談学級の先生	0	0.0%
18 スクールカウンセラー	0	0.0%
19 心理カウンセラー	1	0.4%
20 Facebook, Twitter, LINE, Instagram など SNS 上の友だち	2	0.9%
21 その他	9	3.9%

(無回答=7、N値=229)

【その他】

- ・グループホームの職員
- ・娘の友達の親で仲良くしている人。
- ・以前お世話になったスクールサイコロジスト (アメリカ)、役所の担当者
- ・弁護士等の専門職の人 (他1件)
- ・川崎市の相談ダイヤル、でも経験がない等、対応する人には逆に落ち込んで電話を切る。相談ダイヤルが有料は有り得ない。
- ・相談する人は誰もいない。(他1件)

Q20 次のような川崎市の子どもの相談・救済機関 (相談を受けてくれるところ) を知っていますか。(知っているものすべてに○)

	件数	%
1 保健福祉センター (地域みまもり支援センター)	102	44.5%
2 児童相談所	144	62.9%
3 児童・青少年電話相談	44	19.2%
4 児童虐待防止センター	27	11.8%
5 民生委員・主任児童委員	68	29.7%
6 スクールカウンセラー	63	27.5%
7 総合教育センター	14	6.1%
8 24時間子供 SOS 電話相談	40	17.5%
9 教育委員会の教育相談室	18	7.9%
10 電話相談ホットライン	37	16.2%
11 インターネット問題相談窓口	11	4.8%
12 やまびこ相談	3	1.3%
13 かわさき若者サポートステーション	7	3.1%
14 人権オンブズパーソン	27	11.8%
15 川崎いのちの電話	75	32.8%
16 かわさきチャイルドライン	28	12.2%
17 子どもの人権 110 番	53	23.1%
18 神奈川県弁護士会 子どもの人権相談	8	3.5%
19 知っているものはない	40	17.5%

(無回答=8、N値=229)

Q21 あなたは、困ったり悩んだりしたとき、Q20のような相談・救済機関に相談したいと思いますか。(○は1つ)

	件数	%
1 したいと思う	114	49.8%
2 したいけどできない	14	6.1%
3 したいと思わない	83	36.2%
無回答	18	7.9%
合計	229	100.0%

【「したいけどできない」理由】

- ・行政に相談をするという行動に勇気が必要
- ・望んでいるように、すぐに動いてくれるのか不安です。また、ネーミングにも相談してみようかな。と思わない。
- ・子供の目線になった際に、相談したくても出来ないとは感じた。
- ・窓口時間が短いから。
- ・子どもにあまり普及していない、または知られていないのではないかと感じた。(他1件)
- ・私が相談をする場合、親や友だちにまず相談すると感じた為。
- ・解決しなそう。
- ・相談先が多すぎてどの窓口が適切かわからないから。・耳がきこえないため。
- ・色々、他の人のことを考えると相談できないかもしれないと思う。
- ・どう受け取ってくれるかわからないため。

【「したいと思わない」理由】

- ・それほどの相談は今のところないから。(他15件)
- ・なんとか自分で解決する。(他2件)
- ・自分の周りの人に相談すれば、解決するので。(他8件)
- ・不安の方が先に立ってしまう。
- ・身近な場所ではない為、自分を知っている人に相談したい。
- ・面倒。したところだと思う。(他1件)
- ・はずかしい。対応してもらえない恐れ。
- ・何て言えばいいかわからない。もっと大変な人がいる。
- ・解決するには思えないから。(他7件)
- ・役所は民間人の生活内容を知らなさすぎる。(他2件)
- ・以前相談して、時間だけかかり、何の解決もしてくれない。(他1件)
- ・以前別件で公共の相談に問い合わせしたが、対応が冷たく他人事だった。
- ・しても無駄だったから。知合いの校長にスクールカウンセラーだけは相談しちゃダメ！と言われた。
- ・スクールカウンセラーに相談したら、母親のしつけが悪いと言われたため。他の所では、そんなことは言われなかった。
- ・対応が雑だと聞いたことがあるため。
- ・機関があまりにも多い。(他1件)
- ・昔、他の町の民生委員の人が「ラ」近所のうわさを話していて、外の人には、悩み聞かれたくないと思う。
- ・名称でイメージできるが、具体的な業務区分が不明のため。
- ・相談内容にもよるが、「自分の身体的コンプレックスなどを話さなくても良いような内容」の場合は相談したいと思う。
- ・Q19で解決しない場合、利用したい。
- ・次に困るとしたら、自分の介護についてだろうから。

Q22 あなたは、どのようなところなら相談しようと思いますか。自由に書いてください。

- ・まず、家族に。(他1件)
- ・昔からの友人なら、相談しやすい。(他1件)
- ・身の回りの人たちに相談して分からないことがあれば相談する。(他1件)
- ・学校、身近な存在の機関(他1件) ・土日に対応してくれるところ。(他1件)
- ・自分がその時に困ったり、悩んだりした事に対して、一番合いそうな場所に、電話がすぐできるのが良いと思う。
- ・気軽にアクセスできる場所にあり、すぐに話をきいてくれるところ。(他3件)
- ・様々な手段(対面、インターネット、電話、チャット、昼夜平日休日問わず受付)がある機関なら相談しやすいと思います。(他2件)
- ・場所や機関はどういうのも良く、勇気を持って相談した子どもたちに対して、第一声を掛ける大人がどれだけその子どもに寄り添った声掛けができるかどうかだと思ふ。
- ・考え方が多少違っていても、すべて受入れて、聞いてくれるところ。(他6件)
- ・安心、信頼できる場所(他3件)
- ・親身になって寄りそってくれる所。(他7件)
- ・信頼できる人(他2件)
- ・きちんとアドバイスしてくれるところ。(他3件)
- ・いのちの電話的な匿名で、状況を聞いてほしいだけの相談機関(他1件)
- ・ずっと話を聞いてくれてほめてくれるところ。
- ・守秘義務がしっかりしているところ。(他8件)
- ・問題を解決に導いて守ってもらえる。(他4件)
- ・区役所の担当者がまず最初かなと思っている。
- ・きちんと行動に移してくれる所。(他3件)
- ・専門家のいるところ。(他6件)
- ・事前にどのような場所でどのような相談ができるのか、ネットなどで検索でき様子がわかる所。
- ・相談することが子どもにとって良い結果を生むと思えるところ。
- ・同じ悩みを持つ人同士でないと共感してもらえない部分があると思うので、そういったコミュニティに相談する。(他1件)
- ・まず相談に応じて交通整理をしてどの窓口が適切か案内してくれるところがあつたらわかりやすいと思う。
- ・何処にも相談しない。相談する、しないの問題ではなく個々の環境次第ではと考えています。相談された人は自分の時間を割いてまで、時間を費やす人がどれ程いるのでしょうか。また、相談する場所を提供するのも素晴らしいことですが、問題を解決するという事に重きを置いているのであれば人員数が少な過ぎるので、何処にも相談しない。(他1件)
- ・実際に利用を考える頃にはそこへ行く事すらむずかしい状態かもしれないので。
- ・川崎市役所等の機関は信用していない。ひどすぎると思った。
- ・いじめ等が心配される時、適切な相談ができる所(他1件)

- ・過去に児相に相談した事があるが、川崎市は離島がないので大丈夫と思いますが、人口の少ない地域では対応が出来ないと言われ子供がDVを受け裁判になったので、24時間子供SOSに相談してみたいと思う。
- ・相談内容を書面で返答してくれる所。 ・寺や教会 ・まずは自分でよく考える。
- ・相談しようとしたことがないので分からない。(他4件)
- ・人間関係
- ・今、困っている事
- ・現在は相談する事例がありません。(他13件)
- ・子供が不登校とか、不良グループにはいった時
- ・夫が考えが古く、新しい考えを持とうとしない為、子供がだんだんと近づかなくなり、会話も減り、従来の親子関係が失われているのですが、基の親子関係に戻す事ができない。
- ・自分の家族に危険・不利益が生じるような出来事があれば相談したい。
- ・思ったことはないが、人生がどうしようもなく生きるのが辛くなった時
- ・自分では結論が出せない悩みがある場合。又はネガティブな結論にしか行きつかない場合。
- ・お金がもしもつきてしまったときに、たて直しを手伝ってくれるような所。万が一のときには「こういう所があるから・・・」と思えると大抵の事はどうでもよくなる(悩まない)

IV 『地域のこと』についてお聞きします。※子どもとお住まいでない方は、身近な子ども(近所や親せきの子どもなど)や子ども一般のことについてお答えください。

Q23 あなたは、ボランティア活動や町内会・自治会活動など、地域の活動や行事・イベントに参加していますか。(〇は1つ)

	件数	%
1 参加している	23	10.0%
2 だいたい参加している	20	8.7%
3 ほとんど参加していない	60	26.2%
4 参加していない	119	52.0%
無回答	7	3.1%
合計	229	100.0%

Q24 Q23において、「1 参加している」または「2 だいたい参加している」を選んだ人にお聞きします。先生が聞いた子どもの意見は実現されていますか。(〇は1つ)

	件数	%
1 聞いている	6	14.0%
2 だいたい聞いている	8	18.6%
3 ほとんど聞いていない	13	30.2%
4 聞いていない	11	25.6%
無回答	5	11.6%
合計	43	100.0%

Q25 Q24において、「1 聞いている」または「2 だいたい聞いている」を選んだ人にお聞きします。子どもから聞いた意見を実際に反映させたり、実現したりすることができていますか。(〇は1つ)

	件数	%
1 できている	2	14.3%
2 だいたいできている	9	64.3%
3 ほとんどできていない	1	7.1%
4 できていない	1	7.1%
無回答	1	7.1%
合計	14	100.0%

Q26 Q25において、「1 できている」または「2 だいたいできている」を選んだ人にお聞きします。できたことで、印象に残っていることは何ですか。

- ・地域のまつりなど。
- ・子どもの遊びたいことを尊重している。
- ・AED操作訓練(町内会主催)の際に、子供達から見学したい旨要望があったこと。
- ・司会を姉妹でしてくれ、みんなほほえましく、和やかな雰囲気よかった。
- ・伸び伸び遊んでいる姿
- ・自身の活動が多い中で、子供目線から見た意見を大切にしている。
- ・地域の班長をやった事があるが、公園の遊具等の買い入れ等の仕事でほめられた事がある。



Q27 Q25において、「3 ほとんどできていない」または「4 できていない」を選んだ人におききます。できていない理由は何ですか。

- ・低学年、未就学の子供には説明しますが、高学年の子供が参加しない(親が参加させない)親がバカ。
- ・親と子供の意見が合わないから

Q28 子どもには、地域に、一緒に遊んだり話したりする友だちがいると思いますか。(○は1つ)

	件数	%
1 そう思う	141	61.6%
2 そう思わない	27	11.8%
3 わからない	52	22.7%
無回答	9	3.9%
合計	229	100.0%

Q29 子どもには、地域に、遊んだりスポーツをしたりなど、自分が好きなことをする場所はあると思いますか。(○は1つ)

	件数	%
1 そう思う	111	48.5%
2 そう思わない	55	24.0%
3 わからない	55	24.0%
無回答	8	3.5%
合計	229	100.0%

V 『あなたの思い』についてお聞きします。

Q30 あなたは、自分が好きですか。

	件数	%
1 好き	46	20.1%
2 大好き	128	55.9%
3 あまり好きではない	38	16.6%
4 好きではない	10	4.4%
無回答	7	3.1%
合計	229	100.0%

Q31 あなたは、周りの人から大切にされていると感じますか。(○は1つ)

	件数	%
1 感じる	71	31.0%
2 大好き感じる	125	54.6%
3 あまり感じない	22	9.6%
4 感じない	3	1.3%
無回答	8	3.5%
合計	229	100.0%

Q32 あなたは、毎日が楽しいですか。(○は1つ)

	件数	%
1 楽しい	40	17.5%
2 大好き楽しい	141	61.6%
3 あまり楽しくない	35	15.3%
4 楽しくない	8	3.5%
無回答	5	2.2%
合計	229	100.0%

Q33 子どもは、毎日が楽しいと感じていると思いますか。(〇は1つ)

	件数	%
1 そう思う	39	17.0%
2 だいたいそう思う	149	65.1%
3 あまり思わない	25	10.9%
4 そう思わない	1	0.4%
無回答	15	6.6%
合計	229	100.0%

Q34 子どもが安心して、自分らしく生き、社会に参加しながら成長していくためには、どんなことが大切だと思いますか。自由に書いてください。

- ・自分らしく生き社会に参加しながら他人様となかよくする事が大切だと思います。(他2件)
- ・自分のやりたいこと、自分の才能を見つけること。そして、それを伸ばせる環境を得ること。そうすれば、自信もつき、人間関係や社会性も身に付くと思う。(他4件)
- ・子供を守りつつ、子供の成長、取り組みを大切に、自分で自由と伸び伸び生活できる様見守っていく事が大切。(他6件)
- ・失敗しても大丈夫だと思えるような社会。今の日本は学校に行き始めてから社会に出るまで正しいルールを進まないと働けないようなムードがある。(就活や正社員の年齢制限など)何回失敗しても、学校をやめたり、仕事をやめたりしてもハンデをおわらないような社会づくりが大切だと思います。(他1件)
- ・社会に参加することが大事なのであれば、子供にとっての社会が学校一択にならないことが必要であり、子供自身が選択して参加できる社会の選択肢が提示されることが好ましい。(他1件)
- ・多様性を認められるよう風土が作られていること。
- ・それぞれの子どもが受け入れられ、自分を必要としてくれる・認めてくれる環境を大人が作ること。大人自身も自分や周りの大人・子どもを大切に・尊重するという意識をそれぞれもつこと。(他12件)
- ・まずは、子供たちの声を聞き、その声を逃さないこと、その声を優しく受け止めること、その声を応援してあげることが大事かなと思います。今回のアンケートでさまざまな機関があることを知って、川崎市が子供たちを大切に考えているんだなと嬉しくなりました。これらの機関を頼ることが特別なことではないと子供たちが感じれば、もっと安心してのびのび過ごせるのではないかと思います。私自身も何かできることはないか、考えるきっかけになりました。(他1件)
- ・社会や学校が子供を"人"として受けとめ対応すること。行政がきちんと理解すること。困った人のことを困っているひとのことを流れ"作業"としてあつかわず、"人"として対応できる職員を育てて下さい。子供を育てるよりも大人の人としての職員教育が必要だと思います。
- ・おとながすべての子どもに対し、同じ社会を構成する同志であるという意識を持つこと。
- ・集団生活において、もっと小人数の意見や個性にも耳を傾けてほしいと思う。また、将来の進路においても、そういう子がどのように進んでいったらいいのか、選択肢の情報がもっとほしいです。(過去の事例など)
- ・子どもは大切な存在であることを大人が分かりやすく伝えていく事。(他1件)
- ・やはり自立・自律心を育てることが大切だと思います。人に指示されてからでないと動けないような人間はなかなか世間に出てからもきびしい所があると思います。(他2件)
- ・家庭環境の差で社会的な差別を受けないためのサポート体制の充実を図ること。(他1件)
- ・家族が仲良く生活でき、家が安心できるという思い信頼することが大切だと思います。(他5件)
- ・親や地域が愛情をもって子どもの成長をみまもること、またうまく子供を育てることができない親に対しては地域が一定程度サポート(情報提供も含む)することが必要だと思う。(他1件)
- ・親自身が生活の中で良い姿勢をみせて、家族での教育に興味を持って欲しい。(他5件)
- ・親でなくても、周りにいる成人が気にかけてあげられる状態で、すぐに必要なサポートにてをのばせる環境。大人の手をかりながら、自分のことを考えられる時間。親がいるなら、正しい教育に対する知識と意識。学校以外のところで学ぶことができる場所。(塾など有料ではなく、地域のもので)
- ・川崎市子どもの権利1. 2. 3が、幼少期から各家庭で守られていること。学校の環境も大切だけど、赤ちゃんから続く最も重要なものが家庭環境、親子関係、兄弟姉妹関係、だからです。(他1件)
- ・教育機関の早い対応と親の姿勢 ・日本が経済的に豊かで、若い人口が増えること
- ・教育費の支援が必要です。子ども一人あたり大学卒業までで1千数百万かかる時代、お金を稼ぐことに時間や労力を奪われ子供との時間も少なくなっています。お金の支援が回り回って子どもの生活環境につながっていると思います。(他6件)
- ・貧困や虐待をなくしてほしい。くだらない職業の方が給料が高くて、なくてはならないエッセンシャルワーカーの方が低いなんておかしい。児童相談所はもっと専門の人をおいてしっかりやってもらいたい。
- ・小さい頃から地域の中で育つことができると良い。昔のようにみんなが見守って、悪いことをしたら真剣に叱ってくれる。家族のようなつながりが大切だと思うが、現在の親も、ゆとり世代であったり、核家族で一生懸命生活し、子どもものを叱ったことがない家も多い気がする。(他10件)

- ・地域において全世代が交流する機会が少なく、子どもも親、年寄が片よった考えを持っている。川崎市だけの問題ではない。（他 2 件）
- ・乳幼時期から、親を含めた地域との関わりがもてると良いが、保育園、幼稚園、小学校の役割を大事に、余裕がもてるカリキュラムが組めるとよい（地域の人々との関わりをふやして）
- ・学校以外にも、つながりの場所があり、様々な人達と関わりながら成長していく事。大人になると選択の幅がとたんに広がるけど、小中学生のうち、自分の通っている学校が全ての所があり、せまいなあと感じる。習い事や、塾以外に子供たちが活動できる所がもっと増えてほしいと思う。（他 3 件）
- ・小学校では登校班で登校させ、高学年の子どもとの接点があると良いと思う。
- ・いじめとか虐待をなくすために、地域、行政等がアイデアを出し合って解決しなければならないと思います。（他 3 件）
- ・1人で悩まない状況・環境を準備出来ていること。心理的安全が担保され、必要な情報・データが提供され、また必要な支援がなされて、自己実現に支障がないことが肝要である。
- ・どんな所でもいいが、ここに居ると楽しいと思える場所があると良いと思います。
- ・安心して遊べる場所や、運動できる場所がほしい。（他 3 件）
- ・親、学校等関わる人々の愛情。
- ・保護者、周りの大人が、安心、安全な場所、人、でいてあげること。（他 12 件）
- ・大人と子供のほどよい距離感で、支え合っていくつつ、安心、安全に毎日過ごせる環境と、様々なお仕事や、ボランティア活動など社会にふれる機会をもっと増やしていった方が、良いと思う。
- ・差別などなくみんなが安心して暮らせる世界。優しさが広がる世界。
- ・学校生活の充実（他 1 件）
- ・家庭や学校、地域の相談所などが連携して不安や悩みを解決していく事（他 1 件）
- ・なやんだりした時に相談できる場所があることを知ってほしい。（他 1 件）
- ・子供の権利と条例を作っていますが、声をあげられない低学年には無理があるのではないのでしょうか？！大切な成長する低学年の時期に、いつでも悩みや相談ができる場所がある事の認識をさせる必要があるのではないのでしょうか！
- ・規則正しく不自由のない環境づくり
- ・ギャンブルのない社会が大切です！
- ・犯罪が発生しない、安全な街づくりが必要。困った事が起きた場合、速やかにサポートしてくれる窓口が必要。救済機関からも積極的に受け身ではなく、働きかけが必要。（何が課題なのか?）
- ・住んでいるところの治安がよく、地域社会が充実している。（他 1 件）
- ・どんな状況下でも子供たちが正しい情報を得られるようにする。（他 1 件）
- ・社会に参加すると「こんな良い事があるよ」という事を教えること。
- ・やりたいことをやり通す、周りの援助。（他 1 件）
- ・参加する際に親も子も安心して活動できる場所であること。ゴミ拾いなどのボランティア活動の際も子供だけにせず、小グループごとにスタッフなどの大人がついているような場所なら安心して親も子供に参加させてあげたいと思えると思う。
- ・周りの大人が愛情を持って育てること。周りの大人同士が力を合せること。（他 2 件）
- ・大人・子供も意見を聞き話し合い、協力し合いながら過ごすことが大切。みんなに愛されること。
- ・全ての点において、大人の介入が不可欠で大切だと考えます。基本的に子供は本能的な動くものなので、「自分らしく生きる」という部分は半分実行出来てはいるが半分は物事の善し悪しがわからない事もあるので、そこには大人の介入が不可欠だと。「子供が安心して」「社会に参加しながら」この二点についても、大人の介入が必要不可欠であると考えます。
- ・大人が、子供の背中を緩やかに支えてあげる程度に手助け出来れば良いのではと。
- ・メディアに惑わされず、自分らしく生き生きと人生を楽しんでいる大人の存在。言うだけではなく、行動を見せる大人。これは基本だと思っています。子どもは大人を見て成長していくと思っています。（他 3 件）
- ・娘達は中学から私立に進学しているのだけれど、川崎と東京の差には本当に驚かされます。何故、川崎独自色が必要なののでしょうか？本当にそれは役立っていますか？東京都と教科書を別にするけれども、受験するならば不利です。私立の高校受験に関してもそうでしょう。また都立の小学校の設備の良さ、室内プールなど、悲しくなります。コロナ中の対応も都立とは違いすぎました。本当にひどい大学入学後も、出身を聞かれて「川崎」と答えると「ちょっとアレな地域でしょ」と言われるほどです。川崎の子も大学に大勢いますが、ほぼ私立出身です。
- ・自分自身の能力範囲内で身の丈の暮らしが出来ればよいと考える。

Q35 新型コロナウイルス感染症によって、あなた自身の生活(家・学校・職場・地域など)の中で、悩んだり難しかったこと、また、工夫していることを自由に書いてください。

【悩んだり難しかったこと】

- ・誰かと会うことが制限されてしまったこと。(他 10 件)
- ・リモートが増えて、人と話さなくなった。
- ・人と対面して接することができなくなり、スポーツをしたり、飲み会をするなどコミュニケーションが取りづらくなったこと。(他 3 件)
- ・喋る機会が減って話すのが苦手になった。Wi-Fi のつながりが悪い。
- ・会議の持ちよう。
- ・なかなか、直接会うことができなくて疎遠になった。(他 3 件)
- ・子どもの遊び場所がない。(他 1 件)
- ・子どもを広場で遊ばせるときに、他の子と触れ合わせるのが難しい。(相手が感染しているかもしれないし、相手の親にも同じ不安な思いをさせてしまうから)。(他 1 件)
- ・家にいる時間が長く、家族関係がギスギスした。(他 1 件)
- ・パートナーが完全在宅となり 1 人時間が持ちづらくなった。
- ・実家が遠く、交通機関も利用する為、今までのようには頻繁には帰省できない。(他 5 件)
- ・親が亡くなっても会えず皆同じだと思うことはむずかしかった。(他 1 件)
- ・子どもが以前のように友達と家など行き来して遊べなくなったこと。(他 4 件)
- ・子供の友人ともどの様に過ごせば良いのかなど。
- ・家からあまり出ない事 (他 9 件)
- ・食事を一緒にとることが、感染リスクを上げてしまうので、困った。(他 2 件)
- ・新型コロナウイルス感染症に患らないよう外食には十分注意した。(他 2 件)
- ・行く場所が制限されてしまったこと。(他 2 件)
- ・マスクすべき範囲がわかりにくかった。(他 2 件)
- ・場所や時間の制限で思うように活動出来なかった。(他 2 件)
- ・外出できない、買い物に行くのが大変だった。(他 1 件)
- ・具合が悪くなくても医者にかかりづらくなった。(他 1 件)
- ・新型コロナウイルスに子供→自分(母)の順でかかった際、子どもは小児科で検査できたが、自分は混んでいて検査を受けることができませんでした。発熱外来だけでなく、一般病院にももっと受診できるようにしてほしいです。
- ・最初の一年は外出も控えていたので体調が悪くなり、腰痛もできました。体を動かすことを意識して増やし少しずつ体調も戻ってきた。(他 2 件)
- ・真夏時の外出のマスク着用が正直なところ厳しい。
- ・家族が感染しないように室内でもマスクを使用する事がむずかしい。(他 1 件)
- ・毎日するマスクを話をしたりマスクをしたまま食物をかんだりすると、少しずつ、下に下がってしまう。
- ・感染が拡大した始めの頃はマスクが手に入らずこまりました。
- ・何をどこまで気をつけて生活すれば良いのか。(他 1 件)
- ・感染者との隔離
- ・外出時に出来るだけ近くにいる人とのきより間を保つこと。
- ・テレワーク体制 (他 1 件)
- ・コロナに対する考え方、心配の度合い、が人によってちがうところ。(他 2 件)
- ・新型コロナウイルス感染症に罹患しないようにすること。(他 4 件)
- ・仕事が不安定になった。
- ・持病がある人との接し方 (他 1 件)
- ・大切な人にうつさないようにする。(他 2 件)
- ・症状が軽いにも関わらず、10 日間の自宅療養が必要であったこと。
- ・失職した。
- ・家族がコロナに感染した時に、マンション住まいで隔離が出来ず、家族 5 人が狭い家の中で長時間過ごさなければならなかった事。(他 1 件)
- ・子供が小さいので、誰かが感染した場合にかくりするのが難しいと思った。(他 1 件)
- ・少し体調が悪いかと思った時に、検査までする勇気がなかなかもてなかった。
- ・自分がコロナにかかったかもしれないと思った時は、同時期にマスク越しでも長時間話した人が心配になったこと。その人が知り合いではなく、一般企業の窓口の人で、対応に迷った。
- ・情報過多の中、自分らしい活き方が激変し、Web が生活の中に大きく占めてきたこと。
- ・感染経路に関する情報が少ない。
- ・同調圧力
- ・気分転換の方法
- ・お金
- ・第 1 回目のワクチン接種の場所を探すのが大変だった。(他 1 件)
- ・私自身は 3 回接種をしていますが同居の姉は未接種ですので感染が心配です。
- ・遺伝子組み替えワクチンについて。
- ・差別(ワクチンなど)
- ・子どものワクチン接種
- ・少しでも子供が風邪の症状になると、幼稚園や学校を休まなければならなかったこと。
- ・保育園が休園になり、自宅で面どうをみる必要になったとき。(他 3 件)
- ・仕事をしていたが、エッセンシャルワーカーではなかったのも、学童にあずけづらかった。(他 1 件)
- ・訪問介護の仕事に従事しています。電車通勤のため、不特定多数の方々との接触も多く感染予防には意識しました。リモートワークできない職種ですし、高齢者や持病ある方との接触する仕事なので今も気をつけています。(他 4 件)
- ・緊急事態宣言中でも仕事に行かねばならず感染のリスクに晒された事。(他 4 件)
- ・仕事の上での感染予防 ・職場の人とのコミュニケーションが取りにくく難しい。(他 1 件)
- ・勤務状況が出社から在宅へ変わった事により気持ちが少し不安定になった。
- ・当時 2 歳の子どもを見ながら在宅勤務をする事が、みんなにとってストレスで大変だった。(他 2 件)
- ・仕事が今までどおり出来るのか、一番の不安でした。実際はあまり影響はなかった。(他 3 件)
- ・会社のコロナ関連の給付金 etc の不正というかグレーゾーンの使用。
- ・親の思いと、学校の対応に大きな違いがあったことです。子(生徒)への対応は、もう少し柔軟にしてもよかったと思います。今でも思っています。(他 1 件)
- ・リモート授業が多かった。試験勉強が学校でできなかった。
- ・子どもがオンラインの授業についていくのが難しかった。(他 1 件)
- ・子供 2 人がコロナ禍共に受験生で、実際に学校を見に行くことがなかなかできず大変だった。(他 1 件)

- ・オンライン授業が主体になったとき、あとから聞いたけどどう状態になっていたと打ち明けられました。いつも笑顔でいてくれたのに気づけなかったくやしき...
- ・子供の学校行事(修学旅行・体育祭・文化祭・部活動等)がことごとく中止になり、楽しい高校生活を送ることが出来ず、子供も親も辛かった。(他 3 件)
- ・学校行事が中止になる中、大人は飲みに行ったり旅行したり出来ていて、納得がいけないことが多かった。
- ・健康な我が子が、学校でマスクを強いられている事。外では外しなさいと親が言っているのに「しなきゃいけない」「皆がしているから」という周りを気にする空気になっている学校や大人の存在。
- ・子どもがスマホに夢中になってしまった。勉強をしなくなってしまった。生活リズムがおかしくなってしまった。
- ・自宅学習が多かった時は、お友達との交流が減り、気分転換が難しかった。

### 【工夫したこと】

- ・感染対策をする。(他 2 件)
- ・手洗い、うがい、消毒、マスクの着用など。(他 27 件)
- ・素手では食べない。
- ・マスクを 2 重にしたり、フェースシールドの装着。(他 1 件)
- ・親が必ずマスクを着用する。
- ・室内、乗りものではマスク・外ではマスクしない(子ども)。
- ・子どもがコロナに感染する可能性よりも、健康な体にマスクをして不健康になる可能性の方が高いと子どもに分かりやすく説明した。学校にも、話をさせていただいた。
- ・毎日の体温の測定
- ・ワクチンの接種 (他 2 件)
- ・密にならない (他 1 件)
- ・なるべく外で密にならないように遊ぶ。
- ・三密は勿論だが、自分が人にうつさないように注意した。
- ・電車やエレベーターなどできるだけ間隔を空けて立つようにした。(他 1 件)
- ・電車の中などつり皮や棒などさわらないように気をつけました。(他 1 件)
- ・外食する時は、少人数・ソーシャルディスタンス換気がされているお店を選ぶようにしている。
- ・出来るだけ外出しない。(他 8 件)
- ・外出、外食を減らした。(他 4 件)
- ・人混みをさける、公園等は、人の少ない時間に行く。(他 4 件)
- ・乗り物(バス、電車)等はなるべく乗らず、電車なら二駅分は歩いた。バスも徒歩で 30 分位の所は歩いた。(他 2 件)
- ・買い物オンライン中心にした事。(他 1 件)
- ・テレワークで仕事する。(他 2 件)
- ・当時は保育園利用中であつたが、休む家庭が多かった。仕事との両立をする上で家族や、両親をたよってなるべく子供の不安をとりのぞくようにしていた。(他 1 件)
- ・通勤時間を早朝にしたり、ピーク時をなるべく避けた。(他 1 件)
- ・なるべく顔を合わさない
- ・交通(電車)やめて、マイカー通勤、帰宅すると(冬でも)直に全衣類交換シャワー浴をおこなっています。
- ・夫と自分どちらかが在宅勤務になった日は家にいる方が夕食を作ったりしていた。2 人共在宅の日片方がリビングで仕事しなくてはならずうちあわせなど周りにきこえてほしくない仕事るときはその時間帯のみ書斎と代わってもらったりしていた。
- ・テレビ用のヘッドホンを購入し、狭い空間で遊びや在宅勤務それぞれが出来るようにした。

- ・家のなかにいることが多くそのためテレビゲームやオンライン授業などで子どもの視力が大幅に低下したことがコロナで悩んだことです。
- ・町内会活動が、会費・赤十字と赤い葉の募金の集金以外皆無になった。
- ・全ての公園で使用される子供達にその公園管理事務方は礼儀作法を教育して欲しい。使用している所に入っても申し訳ないの一言もない。礼で始まり礼で終わる日本人の良いマナーを厳守させる教育が必要です。道徳心をしっかり身につけて大人になって欲しい。トップの方はデスクワークだけでなく現場を見て職員を自ら明るく暮らしたい町作りを希望いたします。
- ・コロナだからといって、以前と大きく変わらない生活をしているので悩みはほとんどない。(他 1 件)
- ・自ら声をかけるようにし、業務のことを含めつつ軽い雑談をするようにした。
- ・自分の状況より、お客様の事を優先する事を心掛けました。
- ・なるべく電話で用を済むようにした。(他 2 件)
- ・オンライン上でも人と話した。(他 2 件)
- ・SNSなどで極力連絡は取るようにした(長続きはしなかったが)。
- ・T e 1 をかけたり近所の人とまめに会うようにした。
- ・近所の人と草取りや、花の手入れをして今もして、がんばっています。
- ・休日、出かけることが出来なかった近所の子供に、イチゴやブルーベリー等のもぎ取りをやらせています。(自宅の畑で)
- ・スーパーに回数を減らして行き、自宅で食事をした。ベランダに花を植え心が安らぐようにし、子供服でマスクを作ったり、外食が出来なかった時は、行ったつむりのワンプレート料理や、メニューも外国料理を取り入れてみた。
- ・テーブルについたてを設置。・窓をあけ、換気をした。・大皿で出さず、それぞれの皿にわけて出した。・食べる時間をずらした。(個食になってしまい、楽しい食事の時間ではなくなりました。)(他 1 件)
- ・家の中にはいたる所にアルコール消毒を置いた。(他 4 件)
- ・とにかく清潔に生活してます。(他 1 件)
- ・生活全般を見直し、すべてにおいてシンプルにすることを目指した。
- ・初期の頃は部屋をわけたり、工夫したが、今は普通にしている。(他 1 件)
- ・定期的にファミリー会、食事会を開いて対話の機会をつくった。情報交換をしながらコロナ禍を無事すごしてきた。
- ・できるだけ家族全員でサポートするようになった。
- ・趣味を探した、ないしは再度はじめた。
- ・静かにお互いの務めに向き合った。(関係性の破たんは無かった)
- ・家族での活動を増やした。
- ・家族でおしゃべりする時間を楽しんだり、お菓子を作ったり自宅で楽しめる事を探した。(他 6 件)
- ・夫と協力して買い物に行けるよう、分担したりした。
- ・子供達とのコミュニケーション
- ・やってみたくて言われたことに対しては、その意欲を大切にしようと思い、まずはさせてみました。家での役割もわりなく与えました。(いつのまにか本来の姿に戻ってくれて安心しました...)
- ・学校の先生と相談した。

- ・親が神経質にならないように心掛けました。子が不安にならないよう、状況が変化するたびに話題にあげ、子の疑問に答えたり不満、不安を話す場を意識して作るようにしました。
- ・帰宅後に時間の使い方をゲームも含めて考えた。外で遊べる時は近所の公園で友達と遊んだりしている。・節約や貯金
- ・塾を1回やめて、本人が受験すると言い出した時に再入会した。
- ・在宅勤務で子供との時間が増え、前よりも話を聞くようにしている。
- ・自分の事は自分で責任を持つよう「自由と責任」について話した。
- ・図書館を利用した。すこし遠めの所へ行くことでいいリフレッシュになった。
- ・少しは身体を動かさねばならないと思い、毎日ラジオ体操をやっている。(他6件)
- ・自分で出来ることをやってストレスがたまらないようにした。
- ・社会の流れに逆わない
- ・PC周りの設備を見直し
- ・今後どうありたいかを真剣に考え、情報を取捨選択しながら、Web利用で自分の価値、貢献出来ることを実践してみています。
- ・他人の意見に惑わされず、自分で考えて行動したこと。
- ・悪いことはみてみぬふりをする。
- ・コロナの感染数などに一喜一憂することなくやるべきことをやる。(他3件)
- ・家族のテレワークが有ったりで、電話も遠のき、工夫しようもなく、疎遠になり、子どもも成人すると会話もなくなり、ただ孤独になり、マンション生活にもなったので、孤独に慣れる、諦めるしかなかった。
- ・インターネット使用出来ない30~40%の方を指導して下さい。現場を見て仕事をして下さい。
- ・工夫しても結局感染した。

『あなた自身のこと』についてお聞きします。(この回答で書いた人がわかることはありません。)

F-1 あなたの令和4(2022)年4月2日時点での年齢をおしえてください。(〇は1つ)

	件数	%
ア 10歳代	4	1.7%
イ 20歳代	16	7.0%
ウ 30歳代	40	17.5%
エ 40歳代	46	20.1%
オ 50歳代	39	17.0%
カ 60歳代	37	16.2%
キ 70歳代	35	15.3%
ク 80歳以上	11	4.8%
無回答	1	0.4%
合計	229	100.0%

F-2 あなたにお子さんはいらっしゃいますか。(あてはまるものすべてに〇)

	件数	%
ア 妊娠中	3	1.3%
イ 0~2歳の子どもがいる	11	4.8%
ウ 3~6歳(就学前)の子どもがいる	18	7.9%
エ 小学1~3年生の子どもがいる	25	10.9%
オ 小学4~6年生の子どもがいる	17	7.4%
カ 中学生がいる	21	9.2%
キ 18歳未満(4月2日現在)の高校生世代がいる	10	4.4%
ク 18歳以上(4月2日現在)の子どもがいる	90	39.3%
ケ いない	70	30.6%

(無回答=5、N値=229)

F-3 あなたの住んでいるところをおしえてください。(〇は1つ)

	件数	%
ア 川崎区	34	14.8%
イ 幸区	17	7.4%
ウ 中原区	44	19.2%
エ 高津区	28	12.2%
オ 宮前区	33	14.4%
カ 多摩区	35	15.3%
キ 麻生区	37	16.2%
無回答	1	0.4%
合計	229	100.0%

F-4 あなたは、川崎市に住んでどのくらいになりますか。（○は1つ）

	件数	%
ア 1年未満	8	3.5%
イ 1年以上5年未満	21	9.2%
ウ 5年以上10年未満	26	11.4%
エ 10年以上	173	75.5%
無回答	1	0.4%
合計	229	100.0%

F-5 あなたは、誰と暮らしていますか。（あてはまるものすべてに○）

	件数	%
ア 父	13	5.7%
イ 母	20	8.7%
ウ 祖父	1	0.4%
エ 祖母	1	0.4%
オ 兄弟姉妹	13	5.7%
カ 夫・妻・配偶者・パートナー	162	70.7%
キ おじ	0	0.0%
ク おば	1	0.4%
ケ 子ども	103	45.0%
コ 孫	5	2.2%
サ 一人暮らし	35	15.3%
シ その他	1	0.4%

（無回答=1、N値=229）